



平成31年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月10日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 (役職名)上席執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第1四半期の連結業績(平成30年5月1日~平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第1四半期	3,283	21.2	115	△15.0	117	△14.1	75	△45.5
30年4月期第1四半期	2,708	16.2	136	19.5	137	58.6	139	153.5

(注) 包括利益 31年4月期第1四半期 76百万円(△44.9%) 30年4月期第1四半期 138百万円(160.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第1四半期	11.93	11.93
30年4月期第1四半期	23.26	22.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年4月期第1四半期	6,266	3,503	55.0
30年4月期	6,076	3,116	50.7

(参考) 自己資本 31年4月期第1四半期 3,448百万円 30年4月期 3,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期	—	—	—	9.00	9.00
30年4月期	—	—	—	—	—
31年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日~平成31年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,432	19.6	260	13.7	262	12.3	157	△20.7	24.74
通期	13,620	16.6	742	14.6	746	14.4	471	4.8	73.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規2社(社名) BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.、BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHD.

除外—社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年4月期1Q	6,376,000株	30年4月期	6,218,000株
31年4月期1Q	482株	30年4月期	482株
31年4月期1Q	6,348,725株	30年4月期1Q	5,975,556株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、新興国の経済悪化の懸念や、各国の貿易政策等の通商問題といった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループではかねてより開発を行ってまいりました、ECサイトのフルリニューアルと新基幹システム（ERP）の導入を平成30年5月に実施いたしました。多大なる労力と多額の投資を伴ったこのプロジェクトですが、導入当初は新ECサイトに想定を上回る多数の不具合が発生した上にシステム連携がスムーズにいかず、お客様に多大なるご迷惑をおかけするとともに社内もかなり混乱したというのが実情でした。ただし当第1四半期連結累計期間を終えた時点では、いくつかの問題点、要改善点は残しているものの、オペレーション上の重要な課題は概ね解決され、トラブルも収束しつつあります。当社グループとしましては、稼動が安定するまで一時的に負担は大きくなりますが、拡張性の高い新ECサイトを活用し大きく進化・発展させていくことが、美容業界内のBtoB電子商取引市場における圧倒的NO.1の地位を築き上げることができる唯一の方策であると考えております。また同時に新しく導入した基幹システム（ERP）を円滑に稼動させることによって、今後大幅な業務の効率化と生産性の向上を目指してまいります。

なお、平成30年7月にはBEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.のECサイトおよびショールーム店舗をグランドオープンし、グローバル市場での本格的な営業も開始いたしております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,283,731千円（前年同期比21.2%増）、売上総利益は981,839千円（前年同期比12.1%増）となりましたが、営業利益は115,726千円（前年同期比15.0%減）、経常利益は117,889千円（前年同期比14.1%減）となりました。また、前年同期は、連結子会社を吸収合併したことで税負担が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅に増加していたこともあり、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は75,748千円（前年同期比45.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム＋法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

累計登録会員総数は354,780口座（前年同期比11.4%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は101,527口座（前年同期比9.6%増）、ロイヤルユーザ数（過去1年間で6回以上購入したユーザ数）は25,270口座（前年同期比20.8%増）となり、リピート顧客の増加が顕著となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、成長カテゴリーである化粧品・材料の売上を伸ばすべく、プライスリーダーシップ戦略で市場シェア獲得に注力してまいりました。その一方で新ECサイトの不具合も影響してPB機器の販売が芳しくなかったことなどから、物販事業全体の売上高は順調に拡大したものの売上総利益率が低下する結果となりました。また新ECサイトに対する投資費用が高んだことに加え、海外拠点（シンガポール、マレーシア）においても、本格営業開始に向けて費用が先行する時期となりました。

この結果、当事業の売上高は2,480,575千円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益は87,203千円（前年同期比49.0%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ておりましたが、ビューティガレッジグループとしての連携強化と積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加し、当事業の売上高は693,759千円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は48,639千円（前年同期比22.9%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、店舗リース事業が大きく伸長したことに加え、不動産事業、保険サービスが堅調に推移し、当事業の売上高は109,395千円（前年同期比141.6%増）、セグメント利益は13,056千円（前年同期は5,909千円の損失）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、5,001,304千円となりました。これは、主に現預金及び棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、1,265,169千円となりました。これは、主に有形及び無形固定資産の増加によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、2,426,433千円となりました。これは、主に短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、336,124千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.4%増加し、3,503,916千円となりました。これは、主に新株予約権行使による資本金及び資本準備金の増加があったことと、配当金の支払に伴い利益剰余金の減少55,957千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加75,748千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月14日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,648	1,776,401
受取手形及び売掛金	1,139,389	961,904
商品及び製品	1,449,812	1,587,214
仕掛品	99,578	163,268
その他	585,754	532,504
貸倒引当金	△24,657	△19,987
流動資産合計	4,857,526	5,001,304
固定資産		
有形固定資産	244,505	269,186
無形固定資産		
のれん	122,683	176,492
ソフトウェア	36,447	343,740
ソフトウェア仮勘定	311,367	300
その他	755	755
無形固定資産合計	471,253	521,287
投資その他の資産	502,909	474,695
固定資産合計	1,218,668	1,265,169
資産合計	6,076,194	6,266,474
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,053,865	1,128,813
短期借入金	143,334	103,335
1年内返済予定の長期借入金	178,933	161,648
未払法人税等	156,519	45,697
賞与引当金	36,145	93,818
製品保証引当金	5,832	6,136
受注損失引当金	11,241	8,561
株主優待引当金	3,240	2,890
役員退職慰労引当金	75,000	75,000
その他	943,179	800,531
流動負債合計	2,607,290	2,426,433
固定負債		
長期借入金	174,226	160,020
ポイント引当金	59,049	64,346
資産除去債務	44,018	44,055
退職給付に係る負債	17,342	8,483
その他	57,694	59,217
固定負債合計	352,331	336,124
負債合計	2,959,622	2,762,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,232	768,385
資本剰余金	543,999	714,596
利益剰余金	1,944,551	1,965,592
自己株式	△351	△351
株主資本合計	3,081,432	3,448,222
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△65
その他の包括利益累計額合計	-	△65
新株予約権	1,903	1,028
非支配株主持分	33,236	54,731
純資産合計	3,116,572	3,503,916
負債純資産合計	6,076,194	6,266,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日)
売上高	2,708,485	3,283,731
売上原価	1,832,700	2,301,891
売上総利益	875,785	981,839
販売費及び一般管理費	739,647	866,113
営業利益	136,138	115,726
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
仕入割引	140	152
受取手数料	237	391
為替差益	992	1,277
その他	149	1,334
営業外収益合計	1,521	3,157
営業外費用		
支払利息	175	599
障害者雇用納付金	280	360
その他	29	35
営業外費用合計	484	994
経常利益	137,175	117,889
特別利益		
新株予約権戻入益	236	-
特別利益合計	236	-
税金等調整前四半期純利益	137,411	117,889
法人税、住民税及び事業税	15,105	37,140
法人税等調整額	△15,905	4,557
法人税等合計	△799	41,697
四半期純利益	138,210	76,191
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△796	442
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,007	75,748

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	138,210	76,191
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△314
四半期包括利益	138,210	75,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,007	75,683
非支配株主に係る四半期包括利益	△796	193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金175,152千円、資本剰余金175,152千円がそれぞれ増加しております。これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金768,385千円及び資本剰余金714,596千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,043,554	619,654	45,276	2,708,485	—	2,708,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,229	270	11,566	93,066	△93,066	—
計	2,124,783	619,925	56,843	2,801,552	△93,066	2,708,485
セグメント利益又は損失(△)	170,948	39,570	△5,909	204,609	△68,471	136,138

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,471千円には、セグメント間取引消去11,059千円、未実現利益の調整額1,644千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,175千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年5月1日 至 平成30年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,480,575	693,759	109,395	3,283,731	—	3,283,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126,025	18,206	8,674	152,905	△152,905	—
計	2,606,601	711,965	118,069	3,436,636	△152,905	3,283,731
セグメント利益又は損失(△)	87,203	48,639	13,056	148,899	△33,172	115,726

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,172千円には、セグメント間取引消去3,707千円、未実現利益の調整額10,954千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47,833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物販事業」セグメントにおいて、前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった、BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD. 及び、BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHD. を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、64,362千円であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。